

和歌山県感染症報告<速報>

Wakayama Infectious Diseases Report (WIDR)

2016年第1号(週報・月報合併号)

2016年第1週(1月4日~1月10日)、月報12月

◆◆ 注目すべき感染症の動向 ◆◆

— 伝染性紅斑 過去5年間の同時期に比べかなり多い! —

伝染性紅斑は、ほっぺがりんごのように赤くなるのでりんご病ともよばれ、ヒトパルボウイルスB19というウイルスが原因で幼児期～学童期に多くかかる感染症です。

県全体の定点当たり患者報告数は、1.77人(前週:0.52人)と増加し、過去5年間の同時期に比べかなり多い状況です。

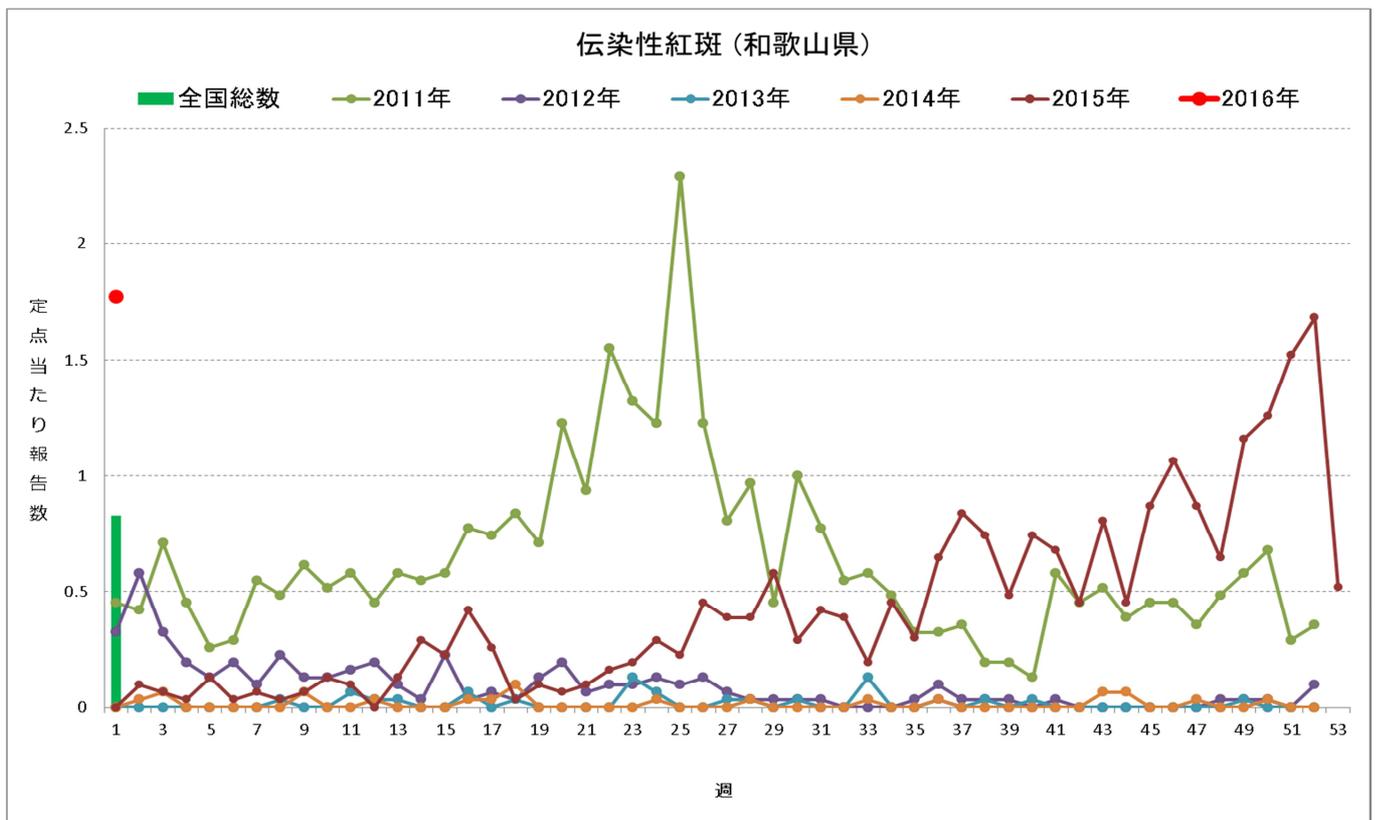
保健所別では、岩出保健所管内が5.00人(前週:2.00人)と最も多く、次に和歌山市保健所管内が2.33人(前週:0.67人)であり、警報レベルとなっています。

全国的には患者報告数は0.83人(前週:0.32人)と大きく増加し、過去5年間の同時期に比べかなり多い状況です。

この疾病の感染経路は、飛沫感染および接触感染です。感染予防のために、手洗いうがいを励行しましょう。

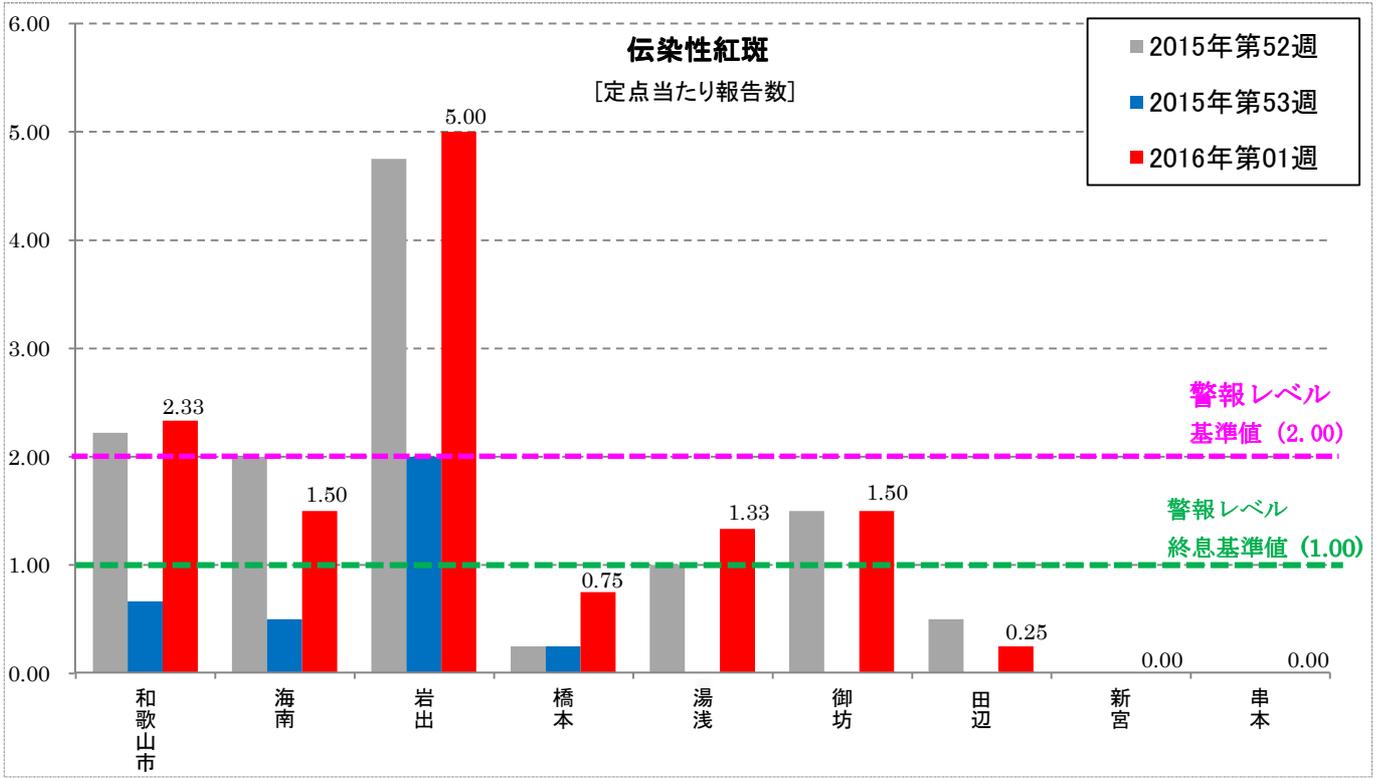
伝染性紅斑に関する説明はこちら:(国立感染症研究所HP)

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/443-5th-disease.html>



伝染性紅斑

[定点当たり報告数]



一 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 一

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎とは、A群溶血性レンサ球菌による上気道感染症で、突然の発熱と全身倦怠感、咽頭痛によって発症し、しばしば嘔吐を伴う細菌性の感染症です。

和歌山県全体の定点当たり患者報告数は、0.90人（前週：0.65人）と増加し、過去5年間の同時期に比べやや多い状況です。

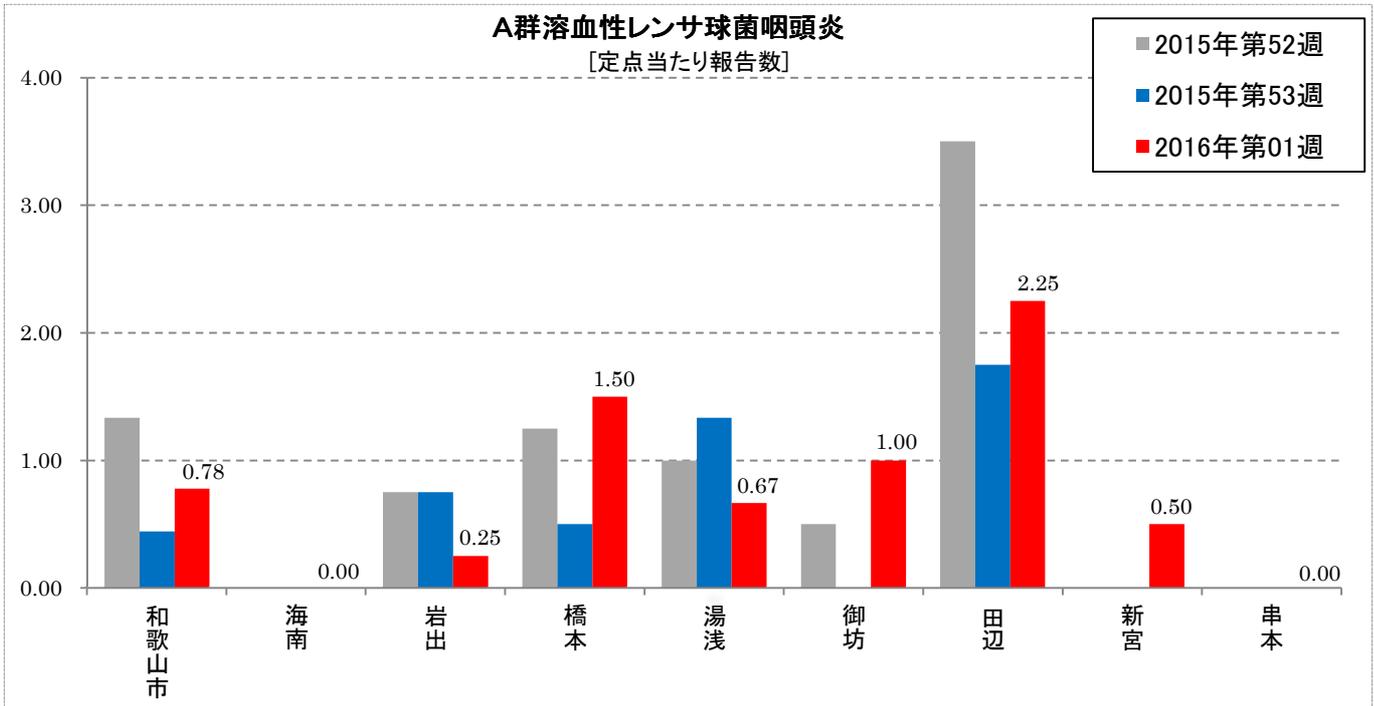
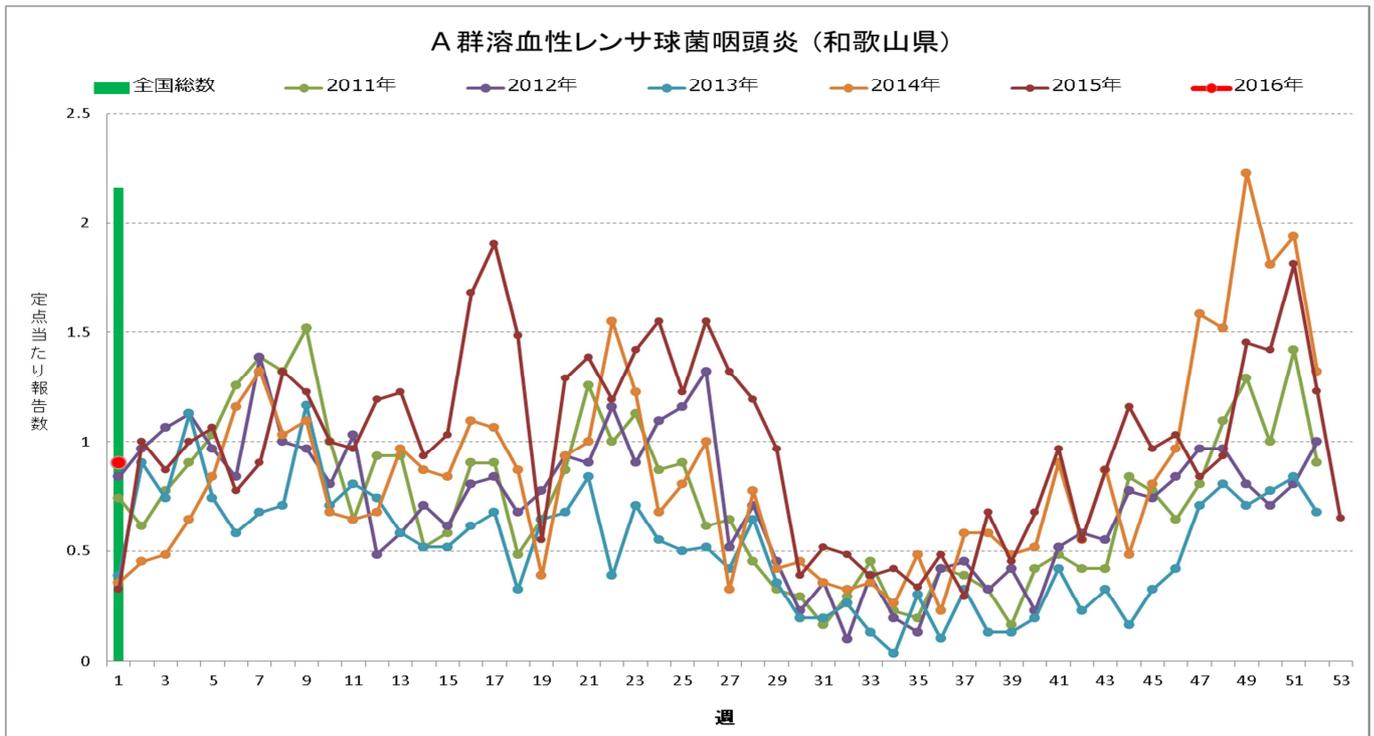
保健所別では、田辺保健所管内が2.25人（前週：1.75人）と最も多くなっています。

全国的には患者報告数は2.16人（前週：1.29人）と増加し、過去5年間の同時期に比べ多い状況です。

主な感染経路は飛沫感染と接触感染であることから、手洗い、うがいを徹底し、感染者とのタオルの共有は避ける等、予防に努めましょう。また、せきの症状がある場合はマスクを着用する等、せきエチケットを心がけてください。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎に関する説明はこちら：(国立感染症研究所HP)

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/340-group-a-streptococcus-intro.html>



ー RSウイルス感染症 : 過去5年間の同時期に比べかなり多い! ー

RSウイルス感染症はRSウイルスを原因とする呼吸器感染症で、2歳までにほぼ100%の子供が初感染を受けるとされています。また、生涯にわたり感染を繰り返す感染症です。

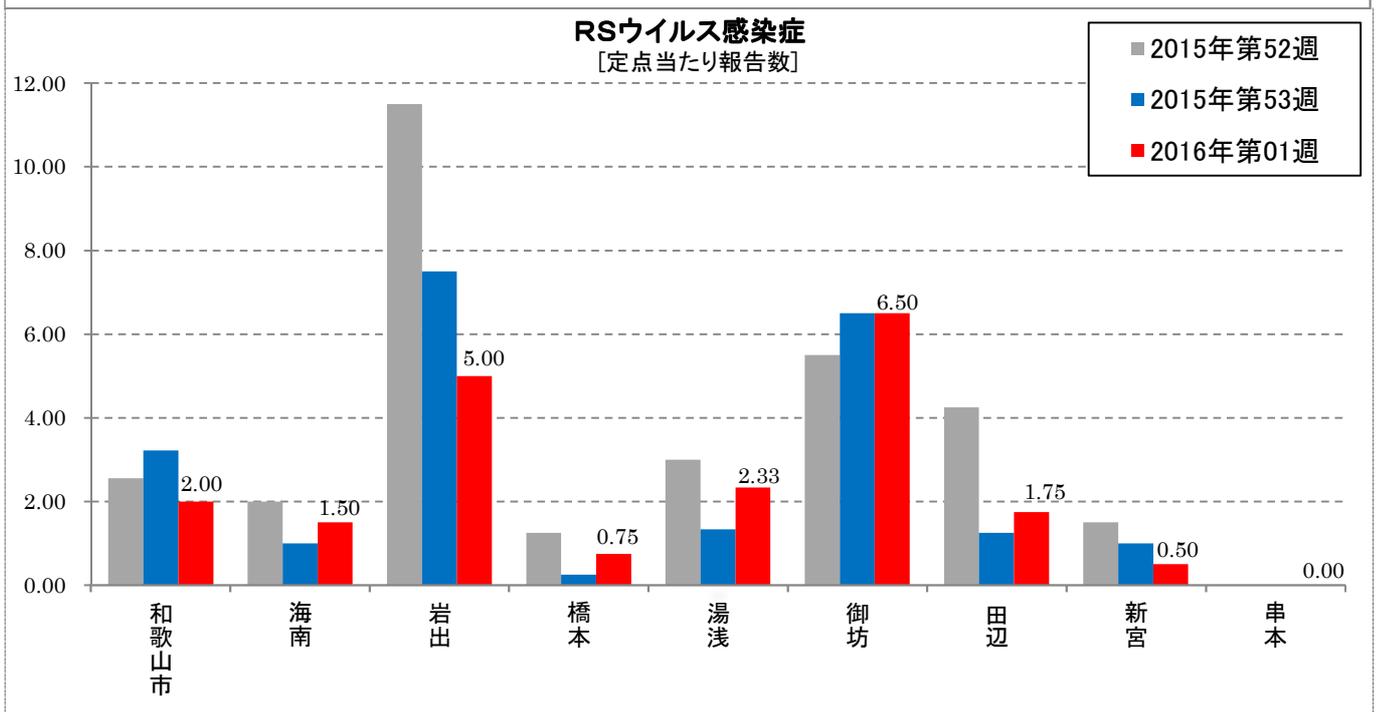
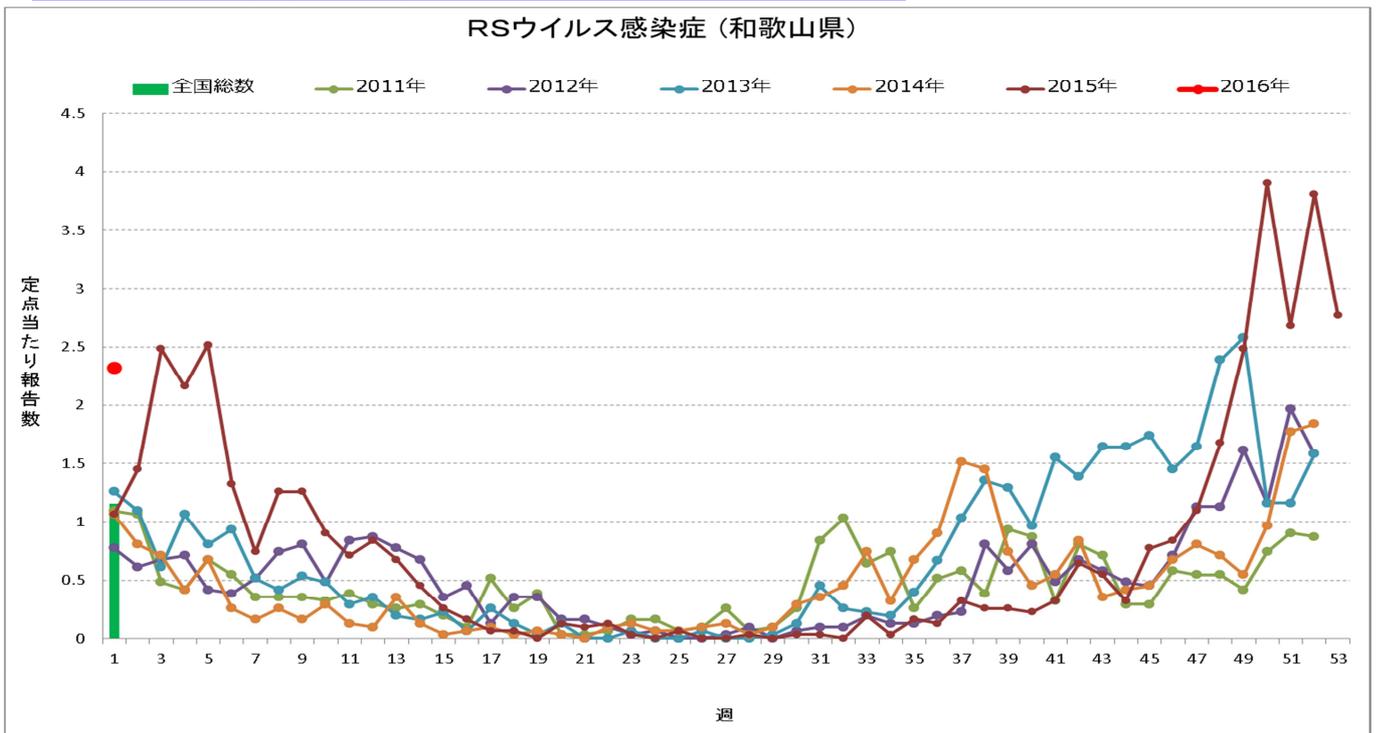
和歌山県全体の定点当たり患者報告数は、2.32人（前週：2.77人）と減少しましたが、過去5年間の同時期に比べかなり多い状況です。

保健所別では、御坊保健所管内が6.50人（前週：6.50人）と最も多く、次に岩出保健所管内が5.00人（前週：7.50人）となっています。

全国的には患者報告数は1.16人（前週：1.03人）と増加し、過去5年間の同時期に比べ多い状況です。主な感染経路は飛沫感染と接触感染であることから、感染予防対策としては手洗い、うがいが基本です。また、せきの症状がある場合はマスクを着用する等、せきエチケットを心がけてください。

RSウイルス感染症の詳しい説明はこちら：(国立感染症研究所HP)

(<http://www.nih.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/317-rs-intro.html>)



◆◆ これから注意が必要な感染症 ◆◆

ー インフルエンザ：流行の目安となる患者報告数を上回る！ー

今週の和歌山県全体定点当たり患者報告数は1.46人（前週：0.30人）と増加し、昨シーズンより4週間ほど遅れて流行の目安となる1.00人を超えました。

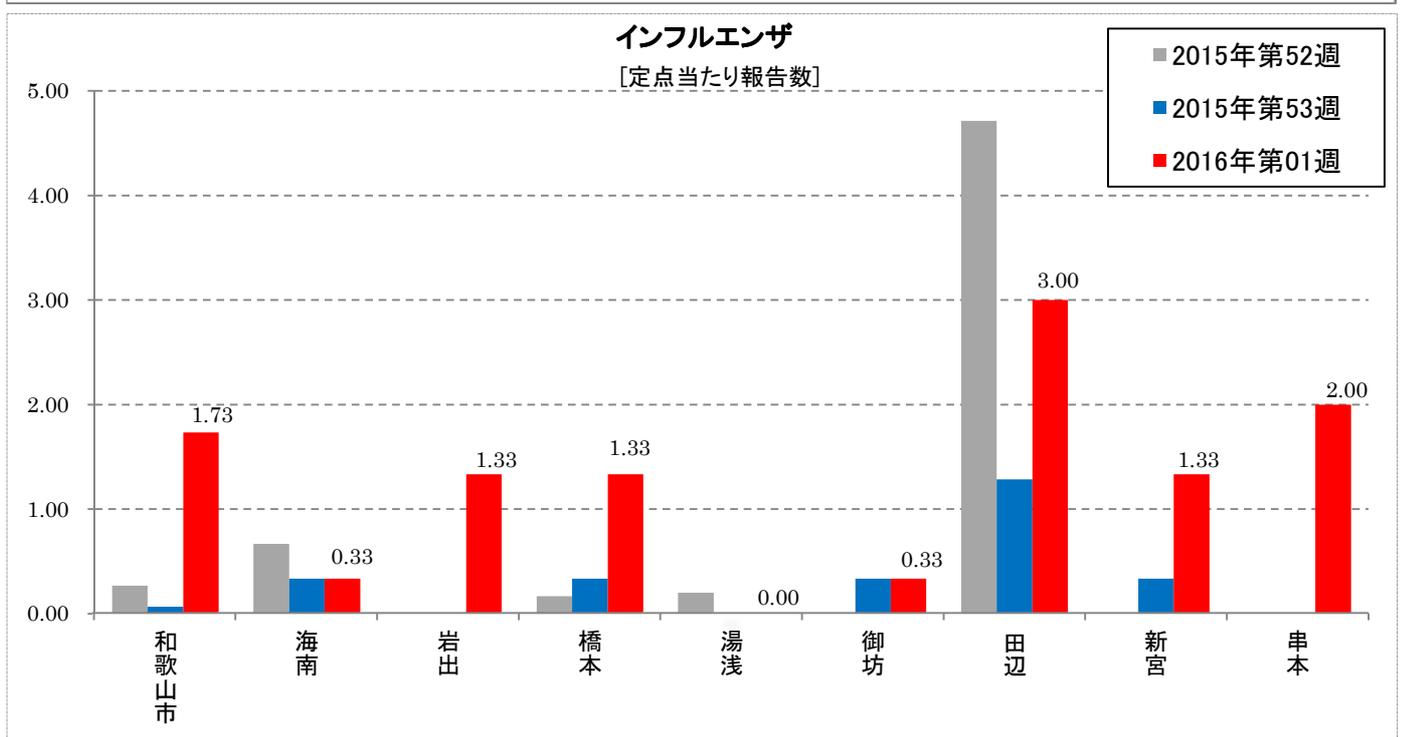
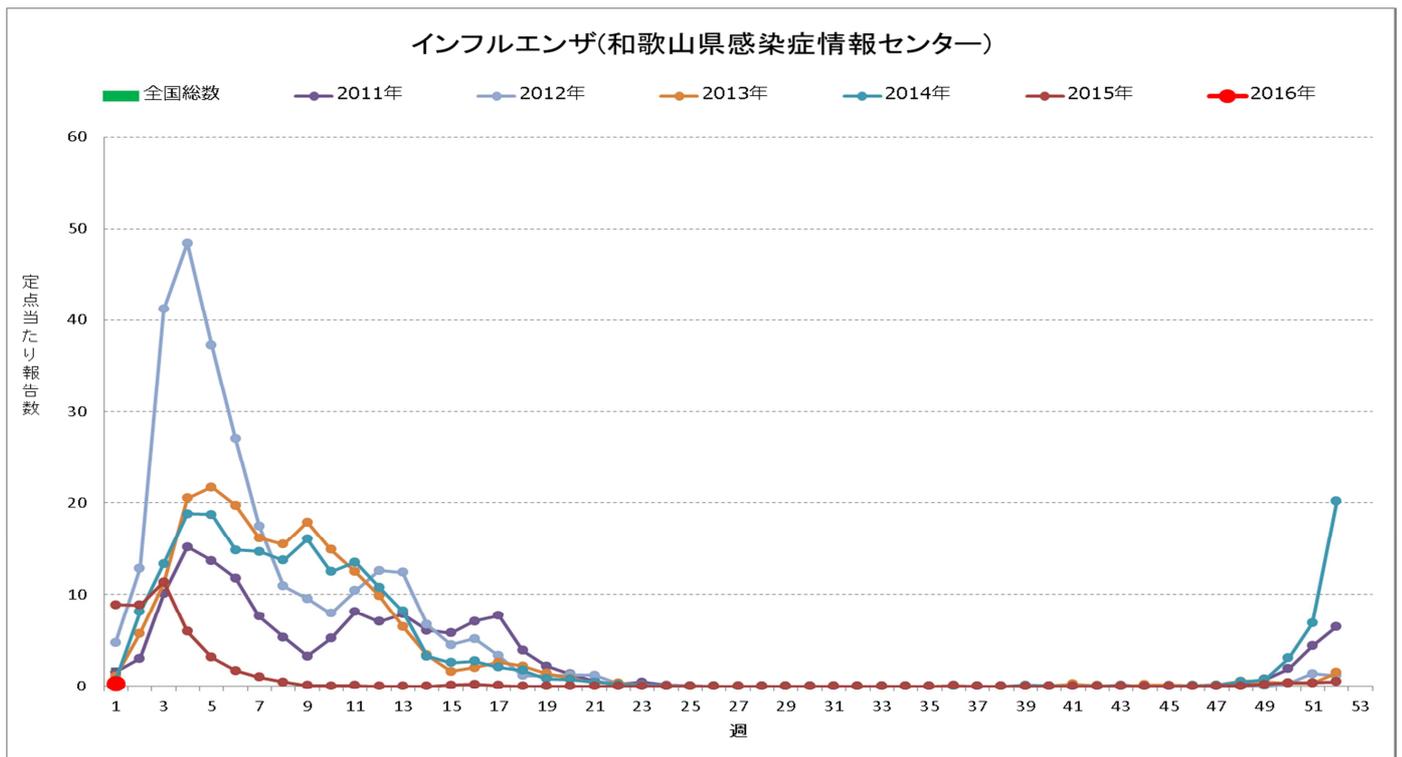
保健所別では、田辺保健所管内が3.00人（前週：1.29人）と最も多くなっています。

全国的にも患者報告数は2.02人（前週：0.89人）と増加しています。

今後、患者報告数が増加されることが予想されますので注意してください。

感染を予防するために、予防接種を受けたり、うがい・手洗いの励行、マスクの着用等による咳エチケットを心がけてください。

インフルエンザに関するQ&A（平成27年度版）はこちら：厚生労働省HP
<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou01/qa.html>



— 感染性胃腸炎 —

感染性胃腸炎は細菌やウイルス等を原因とする下痢、嘔吐を主症状とする感染症です。特に秋から春先にかけて患者報告数が多くなり、この時期はノロウイルスやロタウイルスが主な原因です。

和歌山県全体の定点当たり患者報告数は4.06人（前週：2.03人）と増加し、過去5年間の同時期とほぼ同じ状況です。今後患者報告数が増加していくことが予想されますので注意してください。

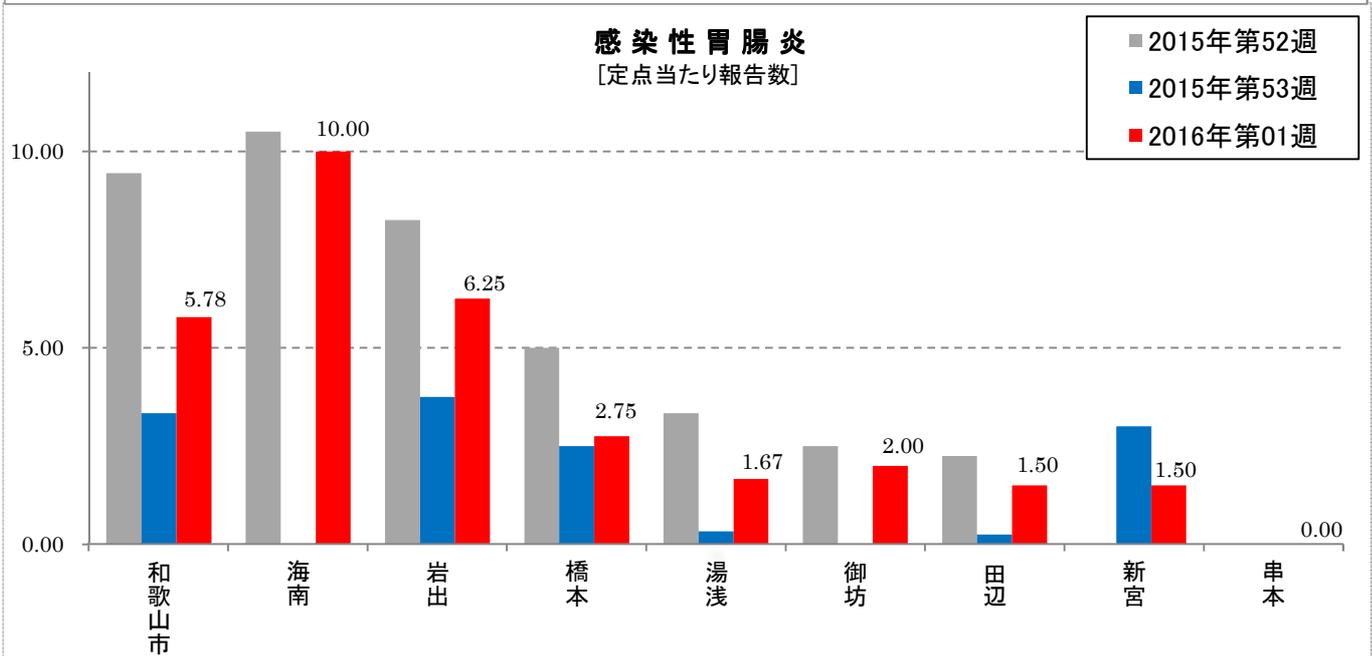
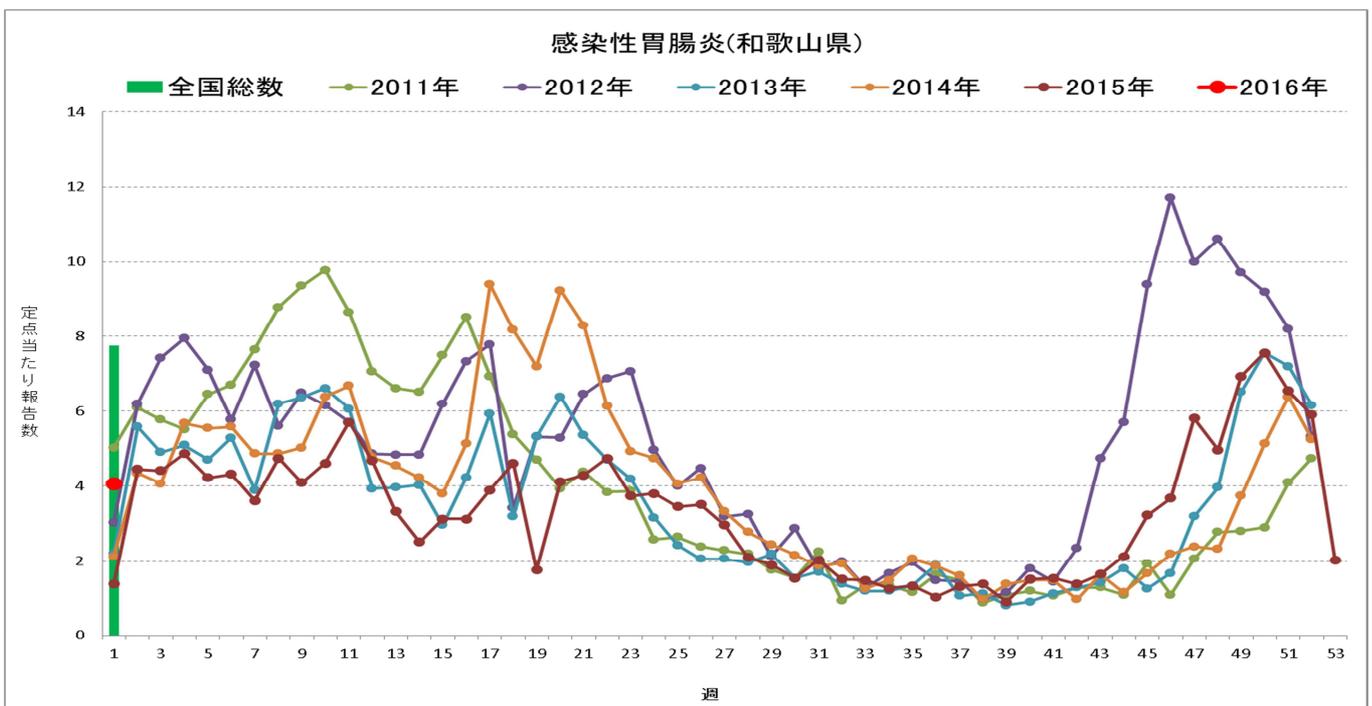
保健所別にみると、海南保健所管内が10.00人（前週：0.00人）と最も多く、次に岩出保健所管内が6.25人（前週：3.75人）となっています。

全国的には患者報告数は7.74人（前週：4.49人）と増加しましたが、過去5年間の同時期に比べやや少ない状況です。

ノロウイルスの感染力は非常に強く、感染経路としては経口感染や患者との接触による接触感染、患者の嘔吐物や便からの飛沫感染等があります。感染予防には手洗いの励行、患者の嘔吐物を処理する際は塩素系漂白剤等を用いて適切な処理をすることが大切です。

感染性胃腸炎の詳しい説明はこちら：（国立感染症研究所HP）

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/383-intestinal-intro.html>



○ 定点把握感染症の警報・注意報レベル基準値について

疾病	警報レベル		注意報レベル
	開始基準値	終息基準値	基準値
インフルエンザ	30	10	10
咽頭結膜熱	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-
感染性胃腸炎	20	12	-
水痘	7	4	4
手足口病	5	2	-
伝染性紅斑	2	1	-
百日咳	1	0.1	-
ヘルパンギーナ	6	2	-
流行性耳下腺炎	6	2	3
急性出血性結膜炎	1	0.1	-
流行性角結膜炎	8	4	-

基準値はすべて定点当たりの報告数です。注意報の「-」は対象としないことを意味します。

◆◆ 全数把握感染症について ◆◆

<届出状況>

(1) 当該週に診断された感染症のみ掲載しています。

- 1類感染症：報告はありませんでした。
- 2類感染症：結核 3名
- 3類感染症：報告はありませんでした。
- 4類感染症：報告はありませんでした。
- 5類感染症：報告はありませんでした。

◆◆ 5類定点把握感染症(週報)について ◆◆

<各保健所の警報注意報レベル状況>

警報レベル

- 咽頭結膜熱（御坊保健所管内）
- 伝染性紅斑（和歌山市保健所管内、岩出保健所管内）

注意報レベル

ありません。

<年齢階級層別の患者報告数（和歌山県）>

（インフルエンザ）

		総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳～
インフルエンザ	報告	73	-	3	4	3	3	4	5	2	4	1	3	6	4	9	4	8	5	3	2	-
	定当	1.46	-	0.06	0.08	0.06	0.06	0.08	0.1	0.04	0.08	0.02	0.06	0.12	0.08	0.18	0.08	0.16	0.1	0.06	0.04	-

（小児科定点対象感染症）

		総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20歳～
RSウイルス感染症	報告	72	9	20	26	7	8	1	-	1	-	-	-	-	-	-
	定当	2.32	0.29	0.65	0.84	0.23	0.26	0.03	-	0.03	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	報告	16	-	-	5	1	1	3	1	2	2	1	-	-	-	-
	定当	0.52	-	-	0.16	0.03	0.03	0.1	0.03	0.06	0.06	0.03	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告	28	-	-	-	1	3	5	4	2	2	3	4	1	1	2
	定当	0.9	-	-	-	0.03	0.1	0.16	0.13	0.06	0.06	0.1	0.13	0.03	0.03	0.06
感染性胃腸炎	報告	126	-	11	21	13	11	10	8	13	3	7	3	11	6	9
	定当	4.06	-	0.35	0.68	0.42	0.35	0.32	0.26	0.42	0.1	0.23	0.1	0.35	0.19	0.29
水痘	報告	10	-	-	-	2	-	1	2	3	-	1	1	-	-	-
	定当	0.32	-	-	-	0.06	-	0.03	0.06	0.1	-	0.03	0.03	-	-	-
手足口病	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	報告	55	-	1	2	4	4	11	13	7	2	5	4	1	-	1
	定当	1.77	-	0.03	0.06	0.13	0.13	0.35	0.42	0.23	0.06	0.16	0.13	0.03	-	0.03
突発性発しん	報告	12	-	3	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	0.39	-	0.1	0.29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	報告	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	定当	0.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.03	-	-
流行性耳下腺炎	報告	5	-	-	-	1	-	-	1	1	1	-	-	1	-	-
	定当	0.16	-	-	-	0.03	-	-	0.03	0.03	0.03	-	-	0.03	-	-

<保健所別の患者報告数（和歌山県）>

(-:患者報告がない、…:保健所管内に定点が存在しない)

		和歌山市	海南	岩出	橋本	湯浅	御坊	田辺	新宮	串本
インフルエンザ	報告	26	1	8	8	-	1	21	4	4
	定当	1.73	0.33	1.33	1.33	-	0.33	3	1.33	2
RSウイルス感染症	報告	18	3	20	3	7	13	7	1	-
	定当	2	1.5	5	0.75	2.33	6.5	1.75	0.5	-
咽頭結膜熱	報告	3	2	1	4	-	3	2	1	-
	定当	0.33	1	0.25	1	-	1.5	0.5	0.5	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告	7	-	1	6	2	2	9	1	-
	定当	0.78	-	0.25	1.5	0.67	1	2.25	0.5	-
感染性胃腸炎	報告	52	20	25	11	5	4	6	3	-
	定当	5.78	10	6.25	2.75	1.67	2	1.5	1.5	-
水痘	報告	7	-	-	-	1	-	-	2	-
	定当	0.78	-	-	-	0.33	-	-	1	-
手足口病	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	報告	21	3	20	3	4	3	1	-	-
	定当	2.33	1.5	5	0.75	1.33	1.5	0.25	-	-
突発性発しん	報告	2	1	3	1	4	-	-	1	-
	定当	0.22	0.5	0.75	0.25	1.33	-	-	0.5	-
百日咳	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	報告	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	0.5	-	-	-
流行性耳下腺炎	報告	2	-	3	-	-	-	-	-	-
	定当	0.22	-	0.75	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	報告	-	…	…	…	…	…	-	…	…
	定当	-	…	…	…	…	…	-	…	…
流行性角結膜炎	報告	4	…	…	…	…	…	-	…	…
	定当	1.33	…	…	…	…	…	-	…	…
細菌性髄膜炎	報告	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	-	-	…
無菌性髄膜炎	報告	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	-	-	…
マイコプラズマ肺炎	報告	3	…	2	1	-	1	1	-	…
	定当	1	…	2	0.5	-	1	0.5	-	…
クラミジア肺炎	報告	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	-	-	…
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	-	-	…

<院内感染症の動向>

12月の定点当たり患者報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症が1.36人(先月:1.27人)となっています。メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症で患者報告数が最も多い年齢階級層は、70歳以上で全体の53%となっています。

【12月の年齢階級層別の患者報告数(和歌山県)】

		総数	0歳	1～4	5～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70歳～
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	報告	15	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	2	2	8
	定当	1.36	-	-	-	-	-	-	-	-	0.18	-	-	-	0.09	0.18	0.18	0.73
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	報告	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	定当	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.09	-	-
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	定当	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.09

和歌山県感染症情報 (WIDR) 2016 年第 1 号

発行日：平成 28 年 1 月 14 日

発行元：和歌山県感染症情報センター

(和歌山県環境衛生研究センター内)

和歌山市砂山南 3-3-45

TEL 073-423-9570

E-mail e0318011@pref.wakayama.lg.jp

URL <http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/031801/kishukko>

(お問い合わせ先)

和歌山県福祉保健部健康局健康推進課

和歌山市小松原通一丁目1番地

TEL 073-441-2657

E-mail e0412003@pref.wakayama.lg.jp

この WIDR は感染症新法に基づいて実施されている感染症発生動向調査から作成されています。ここに掲載した情報はあくまでも速報であり、今後の調査結果で訂正される可能性がありますのでご注意ください。